

サハ共和国・ヤクーツクだより ⑨

杉嶋俊夫

今回はまた視点を変えて、サハやシベリアと日本との「接点」に触れてみます。

◆サハと、日本のマスメディア

まず最初に「ニュース」をお届けします。今月（2014年2月）はサハが2回もテレビで取り上げられました。

この文章が掲載される頃にはすでに放送は終わっていますが、今月中にレナ川の石柱自然公園に関する番組も予定されています。この僅か1、2年の間にテレビだけでもよくサハ共和国の名前が登場するようになりました。こうしてサハの自然や文化が日本で紹介されることを嬉しく思います。

ただ、やはりどうしても「寒さ」に焦点を当てた内容のものが多くなってしまっているので、そろそろ冬以外のシーズンやヤクーツク市の様子も取り上げてほしいものです（まだヤクーツクは「オイマコンへ行くための経由地点」程度の扱われ方しかされていないようです）。春や夏の美しさはことばでは言い表せないほどで、そうした魅力も伝えてくれることを望みます。

◆サハやシベリアの先住民に関する研究

まだあまり知られていないのですが、サハからさらに視野を広げてシベリア極東地域に目を向けると、じつは日本には地道にこの地域の言語や文化に取り組んできた研究者がかなりの数いらっしゃいます。

特に言語に関しては「なぜ日本にこれほど多くの研究者が？」とびっくりしてしまうほど研究者が“揃って”います。サハ共和国に住む少数民族ユカギールの言語の日本人研究者は二人もいます（ちなみにユカギールという名前は、マンモスや、最近では若者の間で大流行したファンタジーソーシャルゲーム「神撃のバハムート」のキャラクターにも使われています）。

また、日本の某大学ではサハ語の勉強会が始まったとか。本当に時代が変わりましたね。数年前に出た本のタイトルにもなっている「日本語の隣人たち」がこれほどバラエティーに富んでいることはもう少し知られてもよいような気がします。

サハの先住民に関する日本語で読める文献も増えてきています。特に高倉浩樹氏の著作『極北の牧畜民サハ』、『シベリアとアフリカの遊牧民』（共著）もお勧めです。同じ高倉氏による編著書『極寒のシベリアに生きる』は、サハ（とその周辺地域）に様々な分野の研究者が取り組んだ労作です。学術的な内容ですが読みやすく、お勧めの一冊です。

◆サハからもらった宿題

私も、この2ヶ月の間にサハで見聞きしたことを別の角度から考えてみる機会が何度かありました。まだ学び始めて間もないので触れるのはメモ程度にとどめますが、ひとつは「暗さ」ということです。私が現地に滞在したのは冬の終わりから夏にかけてのシーズンで直接体験することはできませんでしたが、真冬は昼間の明るさが数時間という時期もあるそうです。電気がなかった頃、暗い中でどうやって人々は時間を過ごしたのでしょうか。そんなことを考えている時、『くらやみでもへっちゃんら』（絵本、絵・長野ヒデ子、文・桃井和馬）に出会いました。桃井氏はあとがきの中で、人間は暗闇の世界があったおかげでじっくりとものを見、食卓で話をし、自然に対する畏怖の念も抱くことができたと言っています。

もうひとつ私が関心を持つのは「寒さ」です。

荻原真子氏は、採集狩猟漁労という「原理的に最も動物に近い生き方」をしてきたシベリア先住民だからこそ自然の一部としての自覚を持ち続けたのと対照的に、日本では食べ物を「押し戴く」気持ちが失われてしまったことに触れています（石井正己編『昔話にまなぶ環境』収録の「シベリア先住民の神話・昔話」）。

ヤクーツクの北東連邦大学の（元）同僚によると、サハには客を大切にもてなし、じっくり話を聴く伝統があるそうです。「寒くて暗い」世界だからからこそそのような豊かさが育まれたのでしょうか。

日本に帰ってきてはや半年が経ち、タイトルに「たより」という言葉を使うのが一段と気が引けるようになってきました（笑）が、こうしてサハからいただいた宿題はこれからも考えていきたいと思えます。

杉嶋俊夫 略歴:東京都町田市生まれ。千葉大学卒。大学で認知心理学を専攻、途中で言語学に転向、シベリア先住民の言語を学ぶ。院在籍時に西シベリア・トムスクの大学に留学したことがきっかけで、トムスク市やロシア西部・リャザン市にある大学で日本語を教える。今回の派遣も、リャザン大学の時と同じ日露青年交流センターの派遣プログラムによる。



日本語で読める文献 サハの先住民に触れている文献は、大学図書館の一般開放サービスなどを利用すると、ほとんど全て町田市内で読めてしまいます。本当にありがたいことです。



ロシアで出版されている文献 ロシアでもサハ文化に関する出版活動は盛んです。写真は左が『古代ヤクート(サハ)人の世界』(フランス語の報告書からの露語訳)。右が『ヤクート(サハ)の民族衣装』。